



平成20年4月7日

各 位

会 社 名 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
 代 表 者 取締役会長兼社長 谷 正明
 本社所在地 福岡市中央区天神二丁目13番1号
 (コード番号 8354 東証第一部、大証第一部、福証)
 問 合 せ 先 執行役員経営企画部長 吉田 泰彦
 (TEL.092-723-2502)

「第二次中期経営計画」の経営指標目標値の修正について

ふくおかフィナンシャルグループ(取締役会長兼社長 谷 正明)は、平成19年10月1日から「第二次中期経営計画」(期間 2年半、~平成22年3月31日迄 以下「第二次中計」)をスタートさせ、国内トップクラスの地域金融グループの実現を目指して諸施策を展開しています。

第二次中計では最終年度の到達点として当期純利益等の経営指標の目標値を定めておりましたが、前提となる市場金利や株価等の水準は計画策定時と現在で大きく乖離しており、この状況は今後も続くと予想されます。こうした環境の変化を勘案し、計画の前提となる金利シナリオを見直すとともに足下の状況も加味して第二次中計の経営指標目標値を修正することとしました。

なお、第二次中計の基本方針や主要施策に変更はなく、引続き3ブランド(福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行)による広域展開型地域金融グループとして、「グループ一体経営体制の確立」「統合シナジー効果の早期実現と最大化」及び「FFGカルチャーの創造」に取り組んでまいります。

1. 修正後の経営指標目標値

第二次中計では目標とする経営指標として、「連結当期純利益」「連結不良債権比率」「連結ROE」「3行合算OHR」の4指標を設定しております。また、見込みを示すその他の指標として「連結自己資本比率」「連結Tier 比率」を設定しております。修正後の各指標の目標値は次のとおりです。

【FFG第二次中計 経営指標目標値】

		修正前		修正後		
		平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	修正前との比較
目標とする経営指標	連結当期純利益	385億円	500億円	250億円	330億円	170億円
	連結不良債権比率	3%程度	2%台半ば	3%程度	2%台半ば	変更なし
	連結ROE	6%程度	7%台半ば	4%台後半	6%程度	1%程度
	3行合算OHR	50%台半ば	50%台前半	50%台後半	50%台半ば	+3%程度
指標その他	自己資本比率	8%台後半	9%程度	8%台後半	9%程度	変更なし
	Tier 比率	5%台半ば	6%程度	5%台半ば	6%程度	変更なし

1 修正前計数は金利横這シナリオ(中計メインシナリオ)のもの 2 不良債権比率は部分直接償却後

グループの各子銀行（福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行）においても、目標とする経営指標として「コア業務純益」「当期純利益」「不良債権比率」「OHR」「中小企業等貸出金」を設定しております。これらの目標値も以下のとおり修正しております。

【子銀行中計 経営指標目標値】

		修正前		修正後		
		平成20年度	平成21年度	平成20年度	平成21年度	修正前との比較
3行単純合算	コア業務純益	910億円	1,000億円	815億円	885億円	115億円
	当期純利益	465億円	575億円	335億円	430億円	145億円
	不良債権比率	3%程度	2%台半ば	3%程度	2%台半ば	変更なし
	OHR	50%台半ば	50%台前半	50%台後半	50%台半ば	+3%程度
	中小企業等貸出金	6.2兆円	6.4兆円	6.2兆円	6.4兆円	200億円
福岡銀行	コア業務純益	685億円	750億円	620億円	675億円	75億円
	当期純利益	360億円	405億円	300億円	335億円	70億円
	不良債権比率	1%台後半	1%台半ば	1%台後半	1%台半ば	変更なし
	OHR	50%台前半	40%台後半	50%台半ば	50%台前半	+2%程度
	中小企業等貸出金	4.3兆円	4.5兆円	4.3兆円	4.5兆円	変更なし
熊本ファミリー銀行	コア業務純益	95億円	105億円	90億円	90億円	15億円
	当期純利益	30億円	70億円	5億円	45億円	25億円
	不良債権比率	3%台前半	2%台後半	3%台前半	2%台後半	変更なし
	OHR	60%台半ば	60%台前半	60%台半ば	60%台半ば	+3%程度
	中小企業等貸出金	8,800億円	9,000億円	8,600億円	8,800億円	200億円
親和銀行	コア業務純益	130億円	145億円	105億円	120億円	25億円
	当期純利益	75億円	100億円	30億円	50億円	50億円
	不良債権比率	7%程度	5%台後半	7%程度	5%台後半	変更なし
	OHR	60%台後半	60%台前半	70%台前半	60%台後半	+4%程度
	中小企業等貸出金	1兆円	1兆円	1兆円	1兆円	変更なし

*不良債権比率は部分直接償却後

2. 目標値修正の理由

第二次中計の計数計画は「国内景気の緩やかな拡大が継続し、金利水準も経済・物価情勢の改善度合いに応じて徐々に調整される」との前提に立ち、「金利横這」（平成20年度上半期に翌日物金利が0.5%から0.75%に上げられ、以後横這い）と「金利上昇」（平成19年度下半期に翌日物金利が0.5%から0.75%に上げられ、以後半期ごとに0.25%引上げ）の2つの金利シナリオで作成し、「金利横這」をメインシナリオにしておりました。

しかしながら、平成19年度後半の金融市場は、海外・国内共に景気の先行き不透明感が高まり「利上げ観測の後退」「金利のフラットニング化」「急激な株安や円高」が進む等、半年間で大きく変動しており、足下の金利水準や株価等は第二次中計策定時のシナリオから乖離しています。

こうした状況を勘案し、今後2年間の金利シナリオを現在の水準に合わせたものへと変更するとともに、平成19年度の実績等を加味して第二次中計の収益計画を修正することといたしました。なお、新しい金利シナリオの概要は次のとおりです。

【今後2年間の金利シナリオ】

		修正前シナリオ (金利横這)	修正後シナリオ (金利横這)	変更幅	参考 H20/4/2
市場金利	翌日物金利	0.75%	0.50%	0.25%	0.50%
	1年Tibor	1.15%	0.95%	0.20%	0.94%
	10年SWAP	1.90%	1.60%	0.30%	1.52%
基準金利	普通預金	0.30%	0.20%	0.10%	0.20%
	1年定期預金	0.46%	0.39%	0.07%	0.35%
	短期プライムレート	2.625%	2.375%	0.25%	2.375%
日経平均株価		17,000円	13,000円	4,000円	13,189円
為替	ドル/円	120円	103円	17円	102円

修正後シナリオは金利横這シナリオのみ

3. 第二次中計の進捗状況

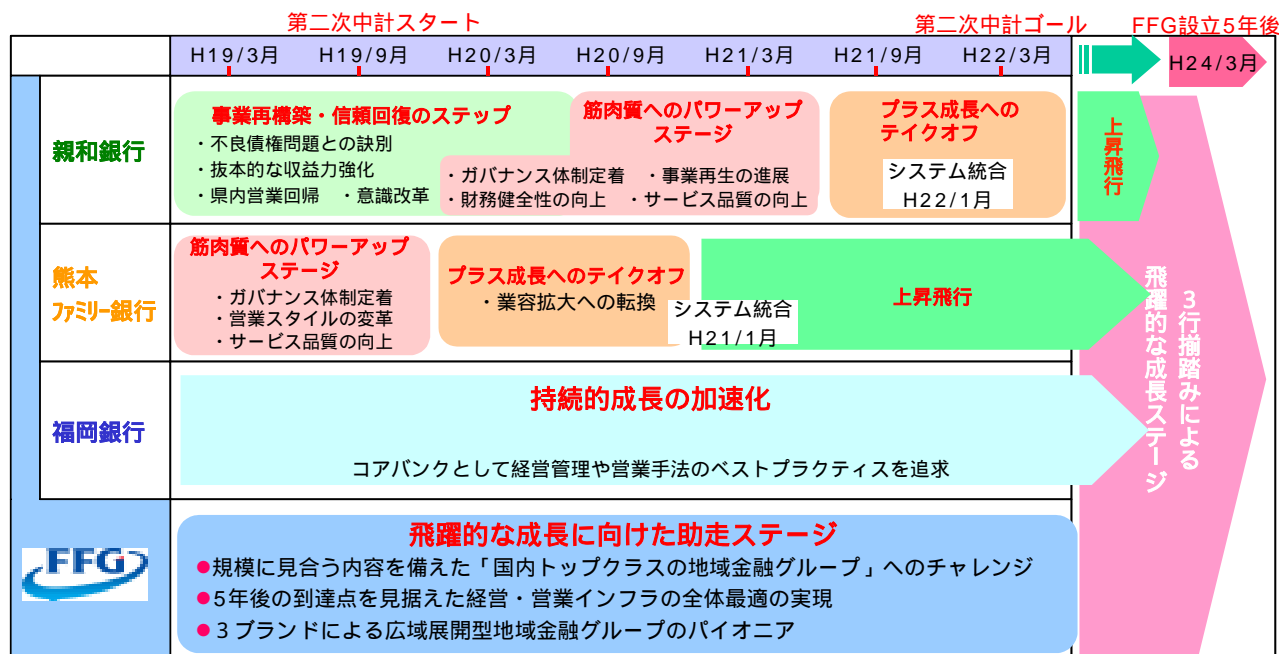
今回、計数計画を修正しましたが、第二次中計の基本方針や主要施策に変更はありません。

第二次中計期間は次なる「飛躍的な成長ステージ」に向けた「助走ステージ」と位置づけ、「グループ全体での最適化」を基本とした経営・営業インフラの構築を通じて、成長の土台となる筋肉質の経営基盤を確立し、統合シナジーの早期具現化に取り組んでまいります。

(1) 第二次中計の基本方針

- グループ一体経営体制の確立
- 統合シナジー効果の早期実現と最大化
- FFGカルチャーの創造

(2) グループ各行の取り組むテーマ



(3) 戦略体系と施策戦術の取組状況

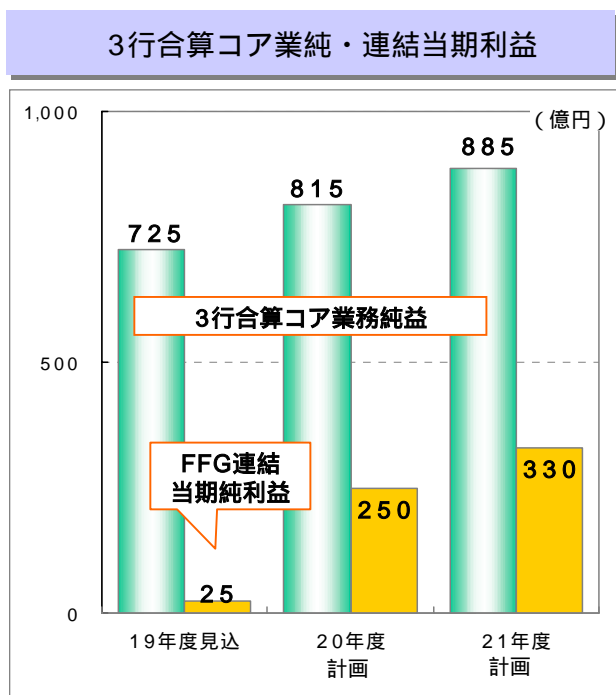
第二次中計の主要施策については、以下に記載のとおり順調に進捗しております。当社グループは高度で良質な金融商品・サービスの提供や地域社会への貢献等を通じて企業価値の持続的成長を実現し、規模に相応しい内容を備えた「国内トップクラスの地域金融グループ」を目指してまいります。

	施策・戦術の概要	これまでの主要な取組み
営業戦略	<ul style="list-style-type: none"> 商品・マーケティング開発の一元化 マルチブランド(3ブランド)による広域展開型営業 グループチャネルの戦略的活用 	<ul style="list-style-type: none"> 熊本ファミリー銀行、親和銀行の営業体制再構築 福岡銀行のソリューション営業ノウハウの展開 3行共通商品の展開(アレコレカード、法人向けスコアリングローン、住宅ローン、消費性ローン、資産運用商品、定期預金) 3行間手数料優遇(ATM無料開放・為替手数料本支店扱い) ビジネス商談会の合同開催 重複店舗の統廃合(実施済 16店)
リスクマネジメント戦略	<ul style="list-style-type: none"> グループリスク管理体制の構築 不良債権問題との訣別 	<ul style="list-style-type: none"> グループリスク管理委員会の新設・運営 債務者格付制度の統一 保守的な引当強化、不良債権処理の加速化:不良債権比率 H19/9末 5.4% H20/3末 4%台後半(見込)
事務戦略	<ul style="list-style-type: none"> 事務規定・処理体制の共通化 事務バックオフィス集約による効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ローンBPRの熊本ファミリー銀行への展開 債権書類集中保管の熊本ファミリー銀行への展開 親和銀行・熊本ファミリー銀行のバックオフィス業務集中の前倒し(当初予定H21/1月・H22/1月 H20/5月頃) 事務部門関連会社の集約
IT戦略	<ul style="list-style-type: none"> 3行のシステム統合 競争力あるグループIT基盤の構築 	<ul style="list-style-type: none"> システム統合に向けた準備(H21/1月 熊本ファミリー銀行、H22/1月 親和銀行) ATMの3行共通化 イントラネット更改(福岡銀行)
人財戦略	<ul style="list-style-type: none"> グループ人的リソースの戦略的再配置 グループ人財の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 統廃合店舗の人員を地元県内へ投下 人財交流・相互出向の拡大(H20/3末延べ164名) 人事制度の統一(H20/4月～) 合同研修の実施(20年度新入行員研修、階層別研修)
クオリティ戦略	<ul style="list-style-type: none"> グループコンプライアンス態勢の強化 ブランド構築によるグループ一体感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 3行合同コンプライアンス委員会の定期開催 顧客目線でのサービス品質向上に向けたプロジェクトの3行展開(サービス介助・顧客アンケート等)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 戦略的・ソートシングプロジェクト(3年間で 130億円規模の経費削減策を実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 経費削減実績:142件 61億円の削減策実現に目途(19年度下半期実現 6億円)

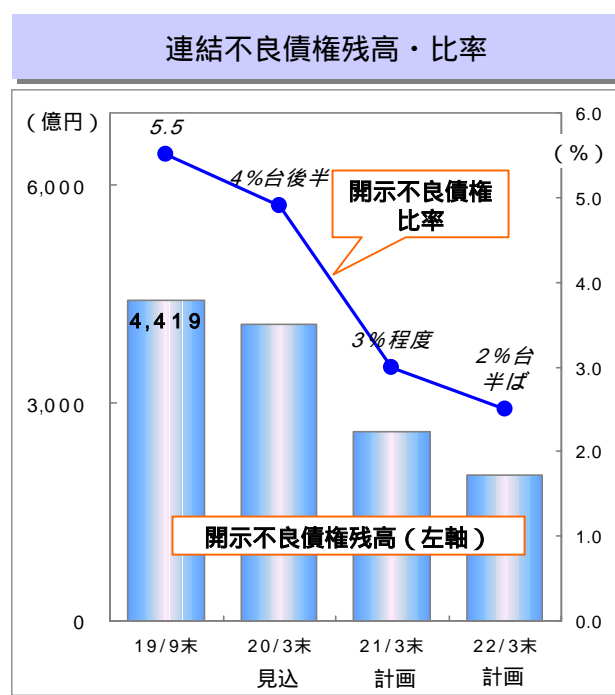
以上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
 ふくおかフィナンシャルグループ
 経営企画部 総合企画G
 電話 092-723-2502

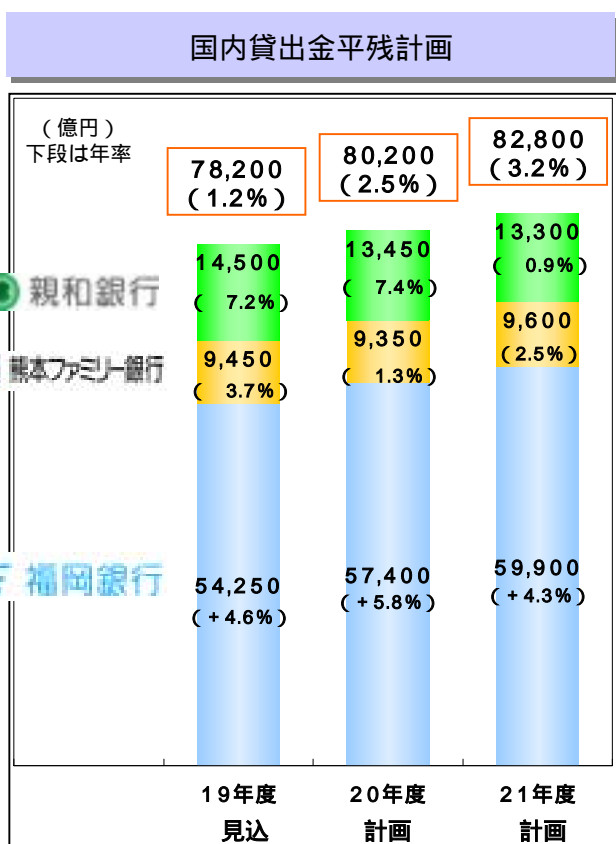
【参考】 第二次中期経営計画 主要計数推移



19年度見込の計数は、親和銀行は下半期のみ



部分直接償却後の計数



FFG単体向け貸出金は除く

